



🔪🔪🔪 押します!!

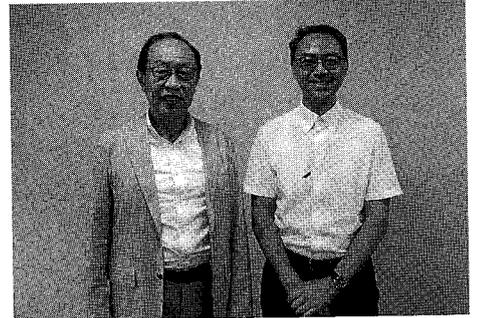


水尾佑実子さん
(公財)かがわ産業支援財団
総務部ファンド事業推進課
課長代理

株式会社FUJIDANは、昭和23年の創業以来、段ボール製造を基盤に70年以上にわたり高機能段ボール商品を提供してきました。特殊強化段ボールの技術を活かし、香川大学との共同研究で避難所でも快適に過ごせる災害時用品を開発するなど、社会課題への挑戦にも積極的です。培われた技術と「おもしろい」製品で、生活の質向上に大きく貢献されました。今後も地域や産業の発展に寄与されることを期待しています。



災害避難所用の新生児用ベッド「dadda® (ダッダ)」



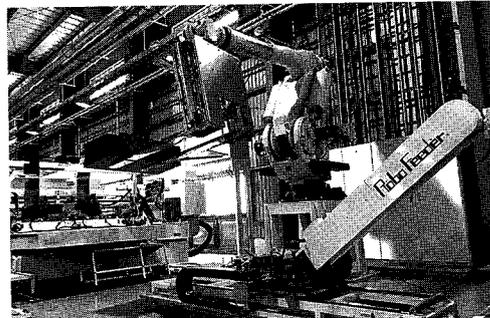
「10年後に売上高100億円を目指す」と話す長谷川室長(右)。左は本田社長



本社エントランスではクルマや恐竜などユニークな段ボール製品がお出迎え

人間工学に基づく段ボール製災害備蓄品 日本を驚かせる総合包装物流企業に

事業キーワードは「おもしろい」と「スピード」



製造・物流の省人化ロボットの外販も今後の事業の柱に

梱包資材を中心に小ロット多品種の段ボール製品を製造し、設計・デザインから物流まで一貫体制の株式会社FUJIDAN(フジダン)が、昨夏、ECサイトではじめた災害備蓄品が話題になっている。災害避難所用の新生児用ベッド「dadda®(ダッダ)」におむつ交換台「dapper(タッパー)」、そして授乳など幅広く使える多目的部屋「danroom(ダンルーム)」の3種について全国の自治体などから問い合わせが相次いでいるそうだ。これらの製品は人

間工学に基づいて設計され、高強度で軽量、しかも資源ごみとしてリサイクルできる優れモノだ。「段ボールメーカー」として間仕切りやトイレ、ベッドといった避難所用品を10数年前からつくっているが、いまや全国で製造されマーケットは飽和状態になっている」と話すのは長谷川満・経営戦略室長(55歳)。そこで思いついたのは避難所での「赤ちゃん連れの家族」のことだった。香川大学創造工学部および医学部の協力を得て約1年かけて開発。できあがったのは通気性やクッション性に富み、ケア用品を収納するスペースが付いたベッドだった。これは新生児医療の知見を取り入れた製品で、昨秋の危機管理産業展(江東区・東京ビッグサイト)に出展してみたところ、「全国の自治体から思った以上の反響があった」(長谷川室長)そうだ。

この製品開発の舞台裏では「おもしろいね、といわれるものを生みつつけるために知恵と心をそそぐこと」という本田展稔社長

問工学に基づいて設計され、高強度で軽量、しかも資源ごみとしてリサイクルできる優れモノだ。「段ボールメーカー」として間仕切りやトイレ、ベッドといった避難所用品を10数年前からつくっているが、いまや全国で製造されマーケットは飽和状態になっている」と話すのは長谷川満・経営戦略室長(55歳)。そこで思いついたのは避難所での「赤ちゃん連れの家族」のことだった。香川大学創造工学部および医学部の協力を得て約1年かけて開発。できあがったのは通気性やクッション性に富み、ケア用品を収納するスペースが付いたベッドだった。これは新生児医療の知見を取り入れた製品で、昨秋の危機管理産業展(江東区・東京ビッグサイト)に出展してみたところ、「全国の自治体から思った以上の反響があった」(長谷川室長)そうだ。

「総合包装物流企業」の実現に向けた「100億宣言」を掲げた。長谷川室長は「省人化ロボットなど無人物流システムの外販も含め、10年後の2035年に現在の約4倍の売上高100億円を目指す」という。同社製品群の新たな「顔」となった災害備蓄品として現在、要配慮者向けの第2弾を開発中とか。「日本をアツと驚かせるおもしろい会社をつくらう」というミッションを掲げ、まっしぐらに突き進んでいる。

自社採点

企画開発	☆☆☆☆
営業力	☆☆☆☆
成長力	☆☆☆☆
収益力	☆☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆☆
計画性	☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆☆